

TS-990S と Turbo Hamlog および CTESTWIN の連携設定

2019年7月14日

JO1QNO 倉持

この記事は TS-990S と CTESTWIN、Turbo Hamlog 利用の為に TS-990S と PC を USB 接続とするというものです。

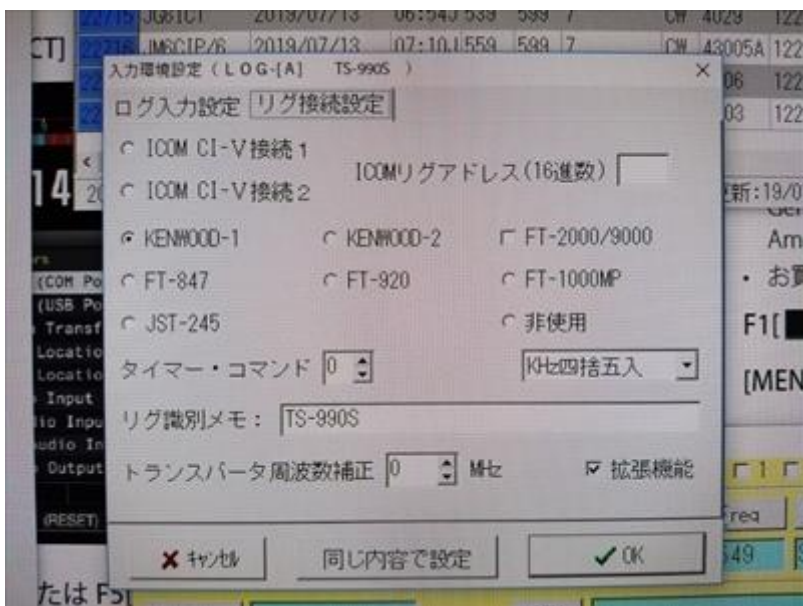
「これが最良の設定」というものではありません。こうやったら動いた、というものです。ボーレートなどはいろいろテストし、私なりに一番良いと思ったスピードを設定していますが、それも最良かどうかはわかりません。そのつもりで参考にしてください。

1. USB ケーブルを用意する。まだ接続してはいけません。仮想 COM ポートドライバーのマニュアルにも出てきますが、これを守らないとあとで大変苦労します。
2. TS-990S の WEB ページよりダウンロードページに移り、仮想 COM ポートドライバーをダウンロードし、インストールします。これにより、TS-990S の USB を PC は COM ポートとして認識することができます。インストール後に USB ケーブルを接続します。インストール方法やインストールの結果を調べる方法は仮想 COM ポートドライバーのページにて確認してください。ここで COM ポートの何番に認識されたのかを覚えておいてください。私の場合は COM5 で認識されていることを確認しました。
3. TS-990S と TS-990S の MENU を押し、7 の「Rear Connectors」を選び、01「baud Rate(USB Port)」を選択し、下の写真の通り 38400bps を選びます。HAMLOG、CTESTWIN の両方で使えるボーレートを指定する必要があるのですが、このボーレートが HAMLOG に設定できる最高のレートです。



4. HAMLOG の設定

さて、入力環境設定で以下のように設定します。



設定するのは「入力環境」の「リグ接続設定」と「環境設定」の中の「設定5」です。「リグ接続設定」では KENWOOD-1 を選択します。タイマー・コマンドは 0 です。これは HAMLOG からリグに情報を取りに行く間隔で、1 と入れれば 0.1 秒ごとに取りに行きますが TS-990S は情報の変化があればリグから情報を送るので、ここは 0 です。拡張機能は AI2 コマンドを利用するかどうかですが、TS-990S ではチェックを入れても入れなくても変化はありませんでした。

設定 5 は KENWOOD-1 or ICOM を以下のように設定します。



HAMLOG を立ち上げ直すと設定変更が反映します。

5. CTESTWIN の Rig Control Setting を以下のように設定します



今回は RIG-1 に設定しますので RIG-1 の設定のみ見てください。COMport には 2 で設定して得られた COM ポート番号を選びます。boud rate には 3 で設定した baud Rate(USB Port)と同じ値を選択します。

以上